

感染症に注意しましょう!

～備えあれば楽しい海外旅行～



海外では、日本で発生していない感染症が多くあります。これからの観光シーズンに海外に出かける人は、楽しい海外旅行となるように、出発前に渡航国の感染症情報をしっかり調べて、適切な感染予防を心がけましょう。ここでは、動物由来の主な感染症をご紹介します。

ラクダ <マーズ(MERS: 中東呼吸器症候群)>

中東地域はマーズの流行国で、**感染元は現地にいるヒトコブラクダ**です。

- 感染すると重い肺炎などの呼吸器症状を引き起こします。
- 特別な治療方法やワクチンはありません。
- 中東でラクダに乗る、肉を食べる、乳を飲むなどの接触は危険です!
- 中東諸国で上記のように**ラクダに接触した人**は、発症していなくても**帰国時に検疫所で申告が必要**です!

(14日間、検疫所の健康監視下におかれる場合があります)

中東ではラクダに近づかない!!

ホテルの中庭にもいます



蚊 <デング熱、ジカ熱>

蚊を媒介した感染症は世界的に多く報告されています。特に熱帯・亜熱帯地域ではデング熱、中南米地域ではジカ熱が流行しています。

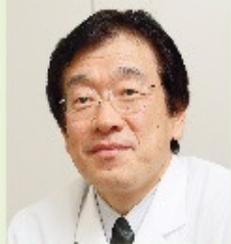
- どちらも、頭痛、関節痛、発しん等の症状があります。
- 特別な治療方法やワクチンはありません。
- 屋外では肌を露出しない、蚊除け剤を使用するなど**防蚊対策**を心がけましょう!
- ジカ熱は、一般的に重症化するリスクは低いですが、

妊娠中の母親からお腹の赤ちゃんへ感染する可能性が指摘されており、国は、妊婦や妊娠の可能性のある人の流行国への渡航を控えるよう呼びかけています。



蚊に刺されないように注意!!

専門家のアドバイス



奈良県立医科大学
感染症センター
みかさ けいいち
三笠 桂一 教授

マーズは国内輸入例がなく、国は海外からの「持ち込み」を防ぐため、検疫所での水際対策に力を入れています。ラクダは、ツパをとばす習慣がありますので、とにかく近づかないことが大切です。ジカ熱は解明されていないことが多く、妊婦さんだけでなく、その家族の渡航も検討が必要です。楽しい旅行の第一歩は、渡航地の感染症情報の収集から始めましょう!

詳しい情報は
渡航前に必ずチェックしましょう!

厚生労働省検疫所HP

www.forth.go.jp/

外務省 海外安全HP

www.anzen.mofa.go.jp/

奈良県立医科大学海外渡航者外来HP

www.geocities.jp/tara0729/

問い合わせ先 : 奈良県保健予防課 0742-27-8612